

令和5年

安平町議会議長

多田 政拓



令和5年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げますと共に、日頃より町議会に對しても、深いご理解と格別のご支援・ご指導を賜り厚くお礼申し上げます。昨年を顧みますと1年を通して、新型コロナウイルス感染症に翻弄された年であつたように思われます。休む間もなくワクチンの接種、PCR検査などに対応される医療機関の皆様、感染予防やクラスター発生時対応など、福祉事業に従事される皆様や学校関係者の皆様、

役場職員の皆様におかれましては、通常業務以外での対応にご尽力されておりますことに敬意を表する次第です。今年こそ、コロナが完全に収束することを願ってやみません。

また、ロシアのウクライナ侵攻、物価・燃料価格の高騰など私たちの生活の根幹を揺るがす話題の多い昨年でもありました。安平町に目を向けると明るいニュースもありました。

2月に開催された「北京2022オリンピック・パラリンピック」では、安平町の三浦選手がアイスホッケー女子日本代表の一員として出場されました。骨折というアクシデントを乗り越え6位入賞に貢献されたその姿に多くの町民が勇気づけられたことでしょう。

5月には「道の駅あびらD51ステーション」の来場者が、開業3年1か月で200万人を突破しました。

ご来場いただきました多くのお客様に感謝を申し上げます。運営されております関係者の皆様には、これからも安

平町の魅力を伝える窓口として、道の駅を更に盛り上げてもらいたいと思います。

7月に3年ぶりに1日限りで開催された「あびら夏！うまかまつり」では、名物である大迫力の花火大会に感動された方も多かったと思います。開催にあたりご協力いただいた陸上自衛隊安平駐屯地、早来駐屯地、株式会社ダイナックスアイスホッケー部の皆様ありがとうございました。今年は例年通りの規模で開催されることを祈念しております。

10月には義務教育学校早来学園の校舎が完成いたしました。平成30年北海道胆振東部地震から今日まで、大変不便な思いをした生徒たちの笑顔が見られることを期待しております。今までにないたくさんの機能を備え、町民の皆様にも利用してもらえる造りとなっております。皆様ぜひ一度足をお運びください。

さて、平成30年北海道胆振東部地震から4年以上の月日が経過し、被災を受けた道路や上下水道、住宅など

生活基盤の整備がほぼ終了いたしました。町民の皆様のご生活も一定程度落ち着いてこられたのではないかと推察しております。地震への備えや防災の意識など震災から学んだことを活かし、町民の皆様が引き続き安心して生活

ができますよう私たち議員一同今年も頑張つてまいる所存です。また、災害以外にも町内には様々な問題が山積しておりますが、議会懇談会でいただきましたご意見やご批判、激励の言葉を適時議会活動に反映させていただきま

す。今後ともなお一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びになりますが、今年の干支は「卯」（うさぎ）です。跳ねるうさぎにあやかり景気が上向き、回復すると言われております。本年が町民の皆様にとりまして希望に満ちた輝かしい1年となりますように心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたしま

富樫 瑛一朗
水橋 勉
横澤 和子
池田 直樹
辻 信芳
宮内 康博
梅田 鋭敏
南 美彦
阿部 修一

安平町教育委員会

委員長 種田 直章
委員 山根 弘文
廣川 由香里
守屋 竜起
佐々木 望

安平町議会

議員 田村 興文
内藤 圭子
農業委員会
委員 秋田 実

喪中により新年のご挨拶を控えてさせていただきます。